

今池水みらいC見学に都島工業生60人

2015/9/16 大阪版 掲載記事より

大阪建設業協会（葛田守弘会長）は9月14日、「今池水みらいセンター水処理施設3-2系築造工事その2」の工事現場で、高校生対象の現場見学会を開いた。大阪市立都島工業高校の建築系2年生の生徒60人が参加。日ごろ見ることのない工事現場の様子を学び取った。

同現場は、久本組・日野建設工業JV（山下剛一所長）が施工を担当。10年かけて段階的に築造する水処理施設3-2系のうち、最初沈殿池部の建設が進められている。完成予定は2016年2月。発注者は大阪府。

当日は、生徒と引率教諭が稼働中の既存水処理施設の内部を見学し、その後、本体工の建設現場に移動。支保工、型枠工、鉄筋工をはじめ、大型クレーンによる合板、鋼矢板の引き抜き作業を目の当たりにした。

見学した女子生徒の一人は、「入学してから建築に興味湧いた。将来は建設業に入りたい。現場は初めて。カッコいい」と顔をほころばせていた。

見学後には生徒から山下所長に対して、仕事についての素朴な質問が投げ掛けられた。「仕事のやりがい、大変さを知りたい」という質問に対しては、「竣工した後の達成感が一番。大変さはどんな仕事にもある」と答えた。また、勤務時間については、若手技術者の川田渉さんの1日が紹介された。



引き抜かれた鋼矢板を見上げる生徒ら